

AMD A岩本氏に表彰式の支援金を贈呈

12月6日パキスタン大使館に訪問したのち、AMD A岩本氏が茅ヶ崎にお出でになりました。2014年の視察から始まり、その年の6月にNRS P・AMD Aそして茅ヶ崎中央RCの協業で始めましたパキスタン家庭健康教育プログラムが当初予定の三年間を終えたことにより、現地で指導に当たったローカルヘルスワーカー（LHW）や受講生の中でも、特筆して指導力が高かったり、その後目覚ましい活躍をされた方を節目に表彰することになりました。



今月15日に開催を予定しております表彰式には、NRS Pバジュワ総裁を始め数名のスタッフ、AMD Aからは菅波代表と岩本看護師、在カラチ磯村利和日本総領事・渡邊庸子経済担当官、カラチRCのアジスメノンポリオプラス委員長、パキスタン大使館に出席の依頼をしてきましたアイシャファルークポリオ根絶担当首相補佐官などのご参列を頂く予定です。

アップルにお出でいただきました岩本氏を、峯山会長・藤原直前会長・小川委員長を始めEPP委員会メンバーでお迎えし、表彰式を開催する費用を茅ヶ崎中央RCから、現地に赴いていただくAMD A岩本氏に贈呈させていただきました。今回、残念ながら国際ロータリーより渡航禁止勧告がパキスタンにでておりロータリアンとして現地に伺うことができませんでした。

また、LHWが行う教育の中に傷の洗浄とその傷をきれいに保つためのガーゼやテープなどを使った応急措置についての教育があります。これに救急箱が必要になります。しかし救急箱について教育した後、現品をその村においていく必要があります。現地では応急措置に必要な物品が殆ど普及しておらず、また、それらを購入する際には困難が伴う場合があります。要因の一つは店へのアクセス。店までの交通手段、距離など。もう一つは、性別問題。パキスタンの女性は家庭の主の許可がないと外出できない場合もあります。また、店の店主が男性であったりすると避妊具、衛生用品などを購入しづらいという心理的要因もあります。そのために、今回は表彰式に併せて現地に救急箱をおくるプロジェクトを地区補助金の申請をし承認いただき、148個の救急箱を贈ることとなっております。

